

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 29日

事業所名 キッズサポートアイアイ

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	13				基準値に応じたスペースとなっている
	2 職員の配置数は適切である	13				基準値以上の配置により適切
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされている	1		12		適切な環境設定となっている。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画して いる	13			全職員体制で実施	ミーティングにて共通理解
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	13				貴重なアンケート資料のため、改善に役立 てていきたい。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	13				周知が徹底していないため、工夫を要する。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	13			外部人材への依頼を している。	アドバイス、助言を生かしていきたい
8 職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	13			定期、不定期に実 施	外部研修も奨励している。	
適切 な支 援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	13			モニタリング会議 を生かしている。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用 している	13			標準化されたア セスメントツール を使用	アセスメントツールについての研修を実施
	11 活動プログラムの立案をチームで行って いる	13			提案できるように 定例会を持つ	日々の姿から必要な事、身に着けてほしいスキル、消 去したい行動など活動に取り込むようにしている。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫し ている	13			子供たちの興味関心 の高いプログラムを実施	チームで話し合い、固定化しないよう日々工夫し ている。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	13				宿題等、計画的に進めている。 日々、きめ細やかな支援の設定
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成している	13			適宜な組み合わ せを行ってい る。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担に ついて確認している	13				職員朝会ミーティングにて共通確認
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せを し、その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	13				職員朝会ミーティングにて共有
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	13				療育日誌、記録帳の活用
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ サービス計画の見直しの必要性を判断して いる	13			モニタリング会議 を生かしている。	
	19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み 合わせて支援を行っている	13				ガイドラインの基本活動を組み合わせ、支援 を行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	13				児童発達支援管理責任者が参加
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	13				学校との密接な連携を行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている			13		該当児童はいないが体制は整えたい。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている	13				関連機関との情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している	10		3		必要に応じて実施している。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	13				研修等へ参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある	13				児童館や、地域のイベント、教会のイベント 等に参加して交流を行っている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している	12	1			代表参加
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	13			出来るようになったこと や、頑張った事、課題 等、日々の送迎時に伝 えている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	13				定期的に行っている。	
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	13				契約時に行っている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	13				保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に 適切に応じ、必要な助言と支援を行うよ うにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	9	1	2	ペアトレ後に開催	今度は、保護者会や親子遠足等で連携を 図っていききたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	13				今後も迅速かつ適切に対応するように努める。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	13				定期的に発信している。
	35	個人情報に十分注意している	13				注意を継続
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	13				意思疎通や情報伝達のため配慮をしている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に関わられた事業運営を図っている	2		11		感染症が落ち着いたので、今後企画していきたい。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	13				策定をしているが周知に至っていない。機会を見つけて周知を図る。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	13				防災について学んだり、避難訓練を月1回行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	13				所内、外部研修への参加
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	13				該当者はないが、全体で確認をしている
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	13				医師の指示に基づく対応をしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	13			会議にて確認	作成し、共通理解を図る。